

令和5年度第1回ゼロエミッションみえ推進会議 概要

- 1 開催日：令和6年3月25日（月）13時10分から13時20分
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

●後田政策企画部長

「令和5年度第1回ゼロエミッションみえ推進会議」を開催する。
本日は「ゼロエミッションみえ」プロジェクトにおける令和5年度の取組を振り返りながら、令和6年度の取組方向を確認する。それでは、事務局から説明をさせていただきます。

※資料について、事務局（前川ゼロエミッションプロジェクト総括監）から説明

☆質疑・意見等 なし

●後田政策企画部長

令和6年度はこの方向性で進めていく。最後に知事からのコメントをお願いしたい。

☆一見知事

地球温暖化はどんどん進んでいるので、取組を加速していく必要がある。今までやってきたなかで特に2点に力を入れてほしい。

一つはEVに関してである。ヨーロッパの動きがやや減速傾向であるのは事実だが、大きな流れはEV化に動いていくだろう。業態転換のベストプラクティスを展開していただきたいが、我々の知らないところで新しい業態に出て行っているところをもう少しアンテナ高くあげていろんな情報を集めてもらいたい。また、今までEVに入って来なかったところ、例えば化学用品等が材料として使われることになるので、どのように入ってきているか確認してもらいたい。

二つ目は洋上風力発電であるが、最終的には地域間競争になってくる。洋上風力発電は裾野が広い事業になるので誘致することができればその県は栄えているし、そうでなければその県はしぼんでいくことになる。愛知県は浮体式実証実験に手を挙げてやっている。合同勉強会をすることは一歩前進であるが、それだけで終わってはいけないので、周辺の県の動向を確認して、三重県が飛ばされることがないようにしっかり誘致するということである。我々、行政は行司役に徹するということが必要ではあるが、他県がどういった動きをしているかつかんで、雇用経済部に対して政策企画部が進行管理をしていただきたい。